



大三小だより

NO. 672

<https://www.nerima-ky.ed.jp/ooizumi3-e/>

振り返る

校長 風見由起夫

暑い夏がいつまでも続いたかと思えば、秋を飛び越して急に冬となる気候に振り回されながらも、予定していた2学期の教育活動を終えることができました。保護者、地域の方々には、本校の教育活動に、ご理解、ご協力いただきましたこと大変感謝申し上げます。

日々の学習活動はもちろん、電車を利用しての遠足、多様な活動ができるようになった移動教室など、直接経験、体験する機会が増え、児童は多くのことを学ぶことができました。音楽会では大きな声を出して歌えることの楽しさを実感できたはずです。保護者の方からは多くのアンケートをいただくことができました。ご意見ご感想をお聞かせいただき大変感謝しております。ありがとうございました。

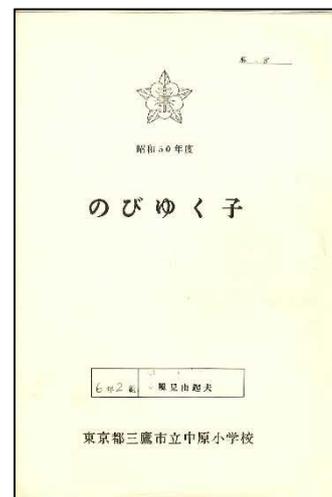
本日で2学期も終了です。1学期の通知表は、所見の記述を個人面談に代えさせていただいたので、所見の書かれている通知表を渡すのは今年度初めてとなります。古い通知表(6年生)の所見欄を紹介します。

プールとか学芸会などでよい経験をしました。役員選挙に立候補の決意をしながら当選しませんでした。この中でも、これからの自分のことについて、よい経験をしたと思います。ぜひ次にはそれをいかして、新しいものに挑戦してください。

通知表の「よくできる」「できる」「もうすこし」の数にこだわらず、頑張ったこと、頑張れなかったことを、自分でしっかり振り返ること。通知表に書かれている言葉(所見)は、大切なメッセージであることを児童に伝えました。ご家庭でも2学期の頑張りをたくさんほめてあげてください。

さて、紹介した通知表は、今から50年前のものになります。文章は手書き、評価の○印もゴム印でした。半世紀がたって改めて読み返してみると、当時の頃を鮮明に思い出すことができます。実は私の小学生時代の通知表です。1年生の通知表もあります。「先生や友達の話に注意して聞く」は「もう少し」となっています。当時の担任の先生には、大変苦勞をおかけしたことでしょう。「注意して聞く」年をとった今も気を付けています。

冬季休業中は、昔からの年末年始の行事、慣習があります。「すす払い(大掃除)」「年越しそば」「初夢」…。裏面に年末年始あれこれの一部掲載しました。子どもたちにその由来や意味を話しながら、ご家族で年末年始をごゆっくりお過ごしください。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。



学校探検⑱ 【北校舎裏(落ち葉)】

いちじくや桜の葉が色づき、落ち葉となって舞い落ちる光景はすてきですが、用務主事にとっては悩ましい時期でもあります。落ち葉を掃いても翌日にはしっかりと校庭を埋めてしまいます。

落ち葉は活用するために回収の日が決められていて、集めた落ち葉を回収日までためています。写真を撮った日は、90Lの袋がおよそ70袋ありました。



〈行事予定〉

〈12月〉			〈1月〉		
25	月	2学期終業式 給食終	3	木	機械警備終
26	火	冬季休業日始	8	月	成人の日
28	木	学校休務日	9	火	3学期始業式 4時間授業(給食有)
29	金	機械警備始	10	水	書きぞめ(5・6年) 計測1年 4時間授業
※12/28は施設管理員のみが勤務しています。 教員はおりません。 ※12/29～1/3は完全機械警備となっています。			11	木	書きぞめ(3・4年) 計測2年 4時間授業
			12	金	計測3年 避難訓練
			13	土	土曜授業日 道徳授業地区公開講座 校内書きぞめ展始

●道徳授業地区公開講座【1月13日(土)】

本校では、すべての学級が道徳の授業を実施する日を1月の土曜授業日に設定しました。道徳授業以外の時間は、通常の土曜公開授業となります。

道徳の授業 2校時(9:20～10:05)：4・5・6年
3校時(10:25～11:10)：1・2・3年・いちよう学級

◎年末年始あれこれ ～よいお年をお迎えください～

〔すす払い〕

正月を迎えるにあたって、家の内外の煤(すす)や塵(ちり)を払い、清掃する行事。煤掃きともいいます。平安時代にすでに行われていたといわれています。12月13日に行うようになったのは江戸時代から。江戸城は12月13日が煤払い日で、民間でも多くが13日を煤払いの日としていました。



〔年越しそば〕



大晦日に年越しそばを食べるようになったのは江戸時代からです。元々、江戸時代の商家では毎月30日(晦日・みそか)にそばを食べる習慣がありました。忙しい晦日は手早く簡単に食べられるようにということからだったようですが、それが大晦日に食べるものとして一般に広まったといわれています。始めはそば団子だったようですが、やがてそば切りを食べるようになりました。「そばのように細く長く長寿であるように」との願いが込められています。

そばはうどんなどと比べて切れやすいことから「一年の苦労や災いを断ち切る」という意味もあるようです。また、金細工の職人が作業場で散った金をそば粉の団子で取っていたことから、そばは金を集める＝金運を願うという説もあるとか。

〔初夢〕

一般的に、正月の2日の夜に見る夢のこと(2日から3日の夜に見る夢との説もあります)。元々中国から伝わったもので、夢を食うといわれる猿の絵を枕の下に入れて吉夢をみようとしたという故事にあやかっただけだそうす。

日本でも室町時代には、よい初夢が見られるように七福神を乗せた宝船の絵を枕の下に敷いたりしたそうです。「一富士、二鷹、三なすび」の夢を見ると縁起がよいとされたのは江戸時代になってから。どうして元日の夜ではなく2日の夜なのでしょう。昔は仕事始めや書きぞめ、年初めの行事が2日だったため、一年のスタートとして、2日に見る夢を重視したようです。

